

令和8年度 武蔵野プレイス 市民活動啓発事業

# 映画鑑賞と 音楽療法ワークショップ & 交流会



## ラジオ下神白

しもかじろ

あのとき あのまちの音楽から いまここへ

監督・撮影・編集  
小森 はるか

福島県復興公営住宅を舞台にした、  
ちょっと変わった被災地支援活動。  
「被災者」という括りでは取まらない、  
一人ひとりの人生が滲んだ声の記録。



出演: 下神白田地の住民さん、アサダワタル、榊 裕美、鈴木詩織、江尻浩二郎、伴奏型支援バンド(池崎浩士・鶴田真実・野崎真理子・小杉真実・岡野恵未子・上原久栄)ほか  
編集・整音: 福原悠介 ミュージックビデオ撮影・録音協力: 齊藤勇樹、長崎由幹、福原悠介 企画: アサダワタル デザイン: 高木市之助 広報物編集: 川村康子  
宣伝協力: 植田さやか(ブンクテ) 協力: 一般社団法人Teco、東京下神白田地自治会、市営永崎団地自治会 製作・宣伝・配給: ラジオ下神白 2023年|日本|70分  
© KOMORI Haruka × Radio Shimo-Kajiro

[www.radioshimokajiromovie.com](http://www.radioshimokajiromovie.com)

2026 **9.21** 月・祝  
武蔵野プレイス 4階フォーラム

対象: 交流会に参加できる方  
定員: 30名  
参加費: 無料

開場 13:15  
開会 13:45  
閉会 16:00



ひと・まち・情報 創造館

武蔵野プレイス



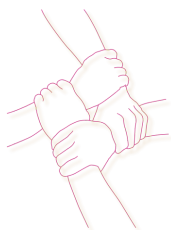
公益財団法人

武蔵野文化生涯学習事業団

楽しむ、出会う、わかちあう

お申込みの詳細は  
裏面をご覧ください

## 内容紹介



## 申込方法

### 【映画鑑賞】

#### 「ラジオ下神白（しもかじろ）」

～あのとき あのまちの音楽から いまここへ～

福島県復興公営住宅を舞台にした、音楽を通じた被災地支援活動のドキュメンタリー映画です。

2016年からプロジェクト「ラジオ下神白」として、まちの思い出と当時の馴染み深い曲について話を伺い、それをラジオ番組風のCDとして届けてきました。

2019年には「伴奏型支援バンド」として、住民さんの思い出の曲を演奏する「伴奏型支援バンド」を結成しました。カラオケとは違い、歌い手の歌う速度にあわせて演奏します。

支援とは何か？ 伴走（奏）するとはどういうことか？「支援する／される」と言い切ることはできない、豊かなかわりあいを見ることが、これからできる地域の人々との関わりやその支援の仕方などを考えます。



### 【音楽療法ワークショップ】

市民活動団体の皆様による音楽療法のワークショップを体験します。

### 【交流会】

感想を言ったり、聞いたり、うなずいたり、つながりを持つことで解決できることや必要とされている市民の力を知るきっかけの場、「自分が好きなことや得意なことで出来るかもしれない身近な市民活動」を考える場として交流する会も合わせて行います。

2026年8月15日(土)より申込順

※定員に達し次第終了

メール [gr-shikatu@musashino.or.jp](mailto:gr-shikatu@musashino.or.jp)

①講座名

②氏名（フリガナ）

③電話番号を明記

④年代

電話 0422-30-1903

（武蔵野プレイス市民活動支援担当）

窓口 武蔵野プレイス3階市民活動カウンター

## アクセス

東京都武蔵野市境南町2-3-18

武蔵野プレイス

JR中央線・西武多摩川線

「武蔵境駅」南口下車 徒歩1分



お申込み時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約および教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。